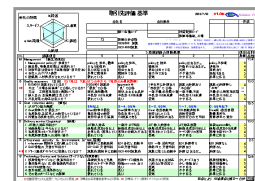


購買業務のプラットフォーム

購買エンジニア評価



評価項目	評価基準	評価結果	備考
1. 業務遂行能力	1. 業務遂行能力	1. 業務遂行能力	1. 業務遂行能力
2. 業務遂行能力	2. 業務遂行能力	2. 業務遂行能力	2. 業務遂行能力
3. 業務遂行能力	3. 業務遂行能力	3. 業務遂行能力	3. 業務遂行能力
4. 業務遂行能力	4. 業務遂行能力	4. 業務遂行能力	4. 業務遂行能力
5. 業務遂行能力	5. 業務遂行能力	5. 業務遂行能力	5. 業務遂行能力
6. 業務遂行能力	6. 業務遂行能力	6. 業務遂行能力	6. 業務遂行能力
7. 業務遂行能力	7. 業務遂行能力	7. 業務遂行能力	7. 業務遂行能力
8. 業務遂行能力	8. 業務遂行能力	8. 業務遂行能力	8. 業務遂行能力
9. 業務遂行能力	9. 業務遂行能力	9. 業務遂行能力	9. 業務遂行能力
10. 業務遂行能力	10. 業務遂行能力	10. 業務遂行能力	10. 業務遂行能力



一般社団法人 日本資材管理協会

URL : <http://www.jmma.gr.jp>

E-MAIL : info_jmma@jmma.gr.jp



購買業務の 基本機能は何か？

mission

ほとんどの項目は
サプライヤが実現する

Q
C
D
S
Ec
Ev
M

1. そのモノは どのような仕様、性能 **品質** か？
2. どのようにして 作られますか？ **納期**
3. いくらか、いくらであるべきか？ **価格**
4. どのような 業界ですか？ **市場分析**
5. 魅力的な新製品開発に必要な情報は
6. SCM, e-commerce を活用していますか？
7. 為替, 輸入手続きは 理解していますか？
8. 商法, 下請法など 遵守していますか？
9. PCS の考え方 認識 活用 , 開発購買
10. VEの理解 活用, グリーン調達 **ISO14000**
11. 調達先の経営状態、リスク対策、 **ISO26000**



調達エンジニアに期待する中核能力は？

色々あるが
コア・スキルは？

利益を創造する

QCDなど
を達成する

いくらで 調達すべきか？

コスト、開発購買

どこから 調達すべきか？

サプライヤと連携

どのように 買うべきか？

生産連携

デザインは どうあるべきか？

設計と連携

(仕様・図面の改良)

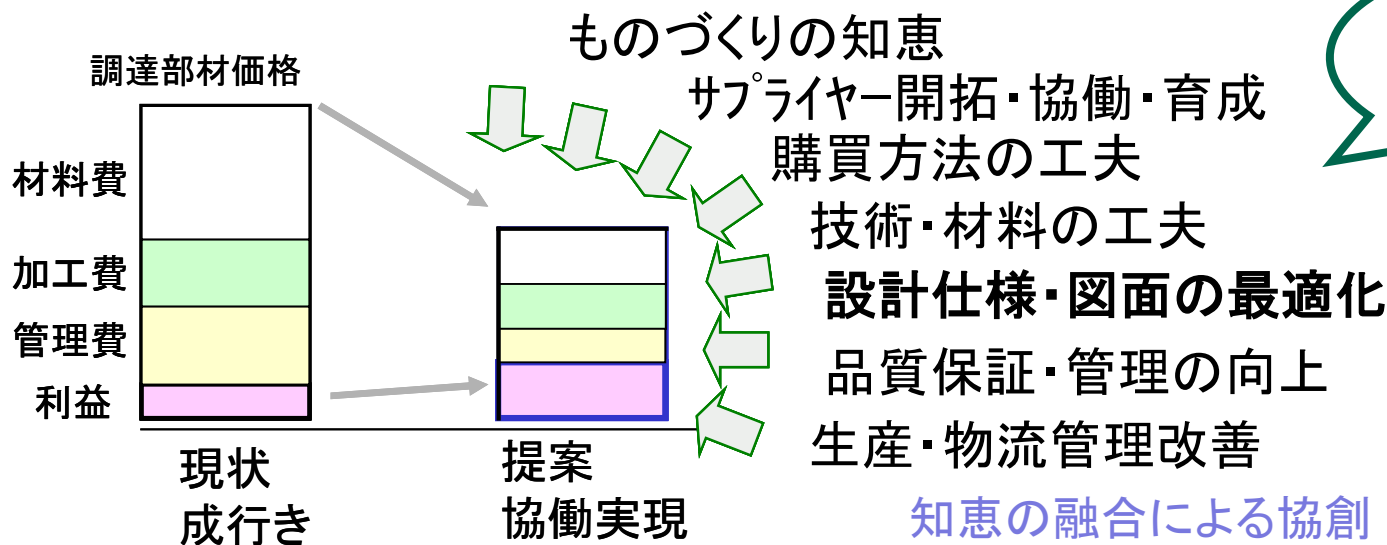


「購買」は 情報を利益に変える !

redefinition

『サプライヤに ビジネス・チャンスを提供して、
必要なQCDESを達成・向上させること』

『サプライヤの優れた技術やものづくりの知恵を活用・協働して、
製品に求められる顧客満足(機能)や感動を実現し、
自社の利益とサプライヤの利益を両立させること』



♪手配購買はモノを買う、開発購買は知恵を買う、価値を買う



目指す目標を どこにするのか？

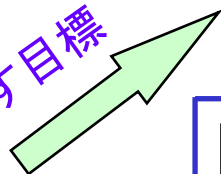
target

購買があるから
利益が増える！

↓ 設計仕様

↓ 知財活用

目指す目標



企画購買(作るモノを決める、商品企画)

要求機能協創 戦略融合

開発購買(使うモノを決める、VE/TD活用)

要求仕様改良 知恵融合

査定購買(作り方を決める、原価分析し指導)

要求仕様評価 協調共有

相見積購買(買うモノを決める、競合し、買い方も工夫)

要求仕様対応 競合

手配購買(必要なモノをうまく買う、QCD確保、JIT対応)

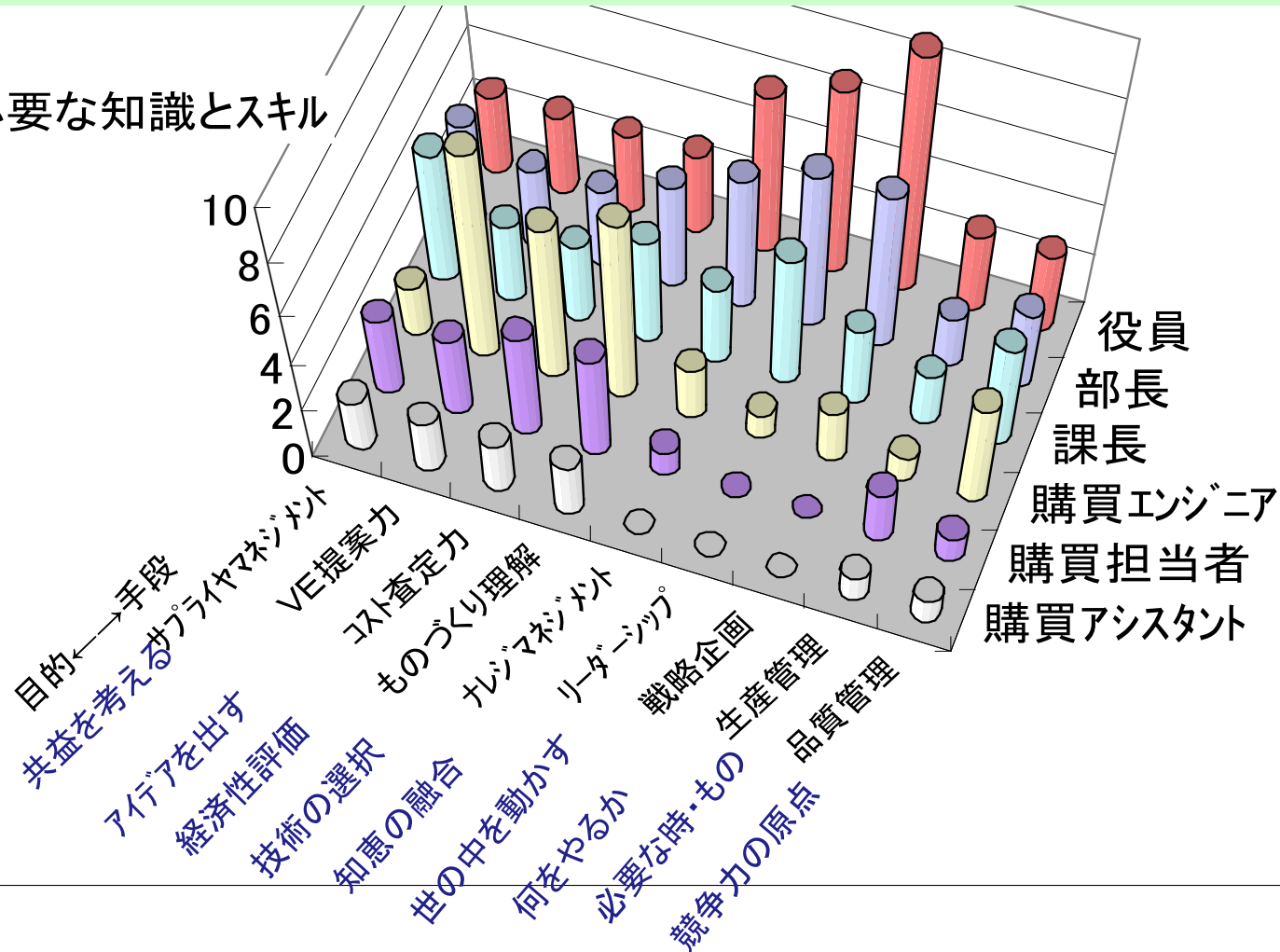
要求中継 分業



購買に求められる能力は？

Essential abilities

必要な知識とスキル





購買エンジニアの何を評価すべきか？ evaluation concept

これは設定例で
変更容易です

期待されるものは何か？

利益に貢献

KGI

サプライヤと協創力

VE提案力

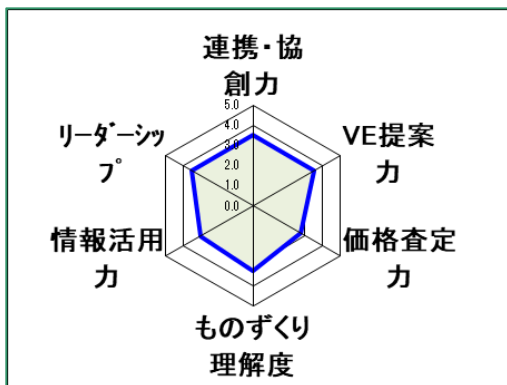
価格査定力

ものづくり理解度

情報活用力

リーダーシップ

KPI





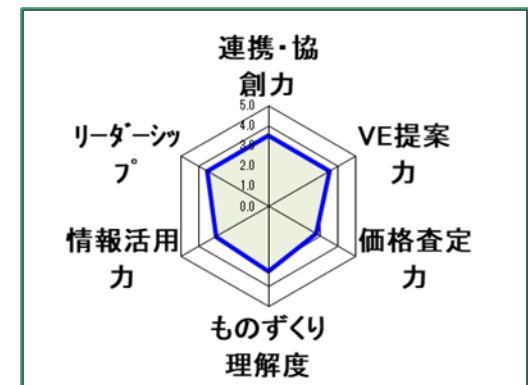
どの視点を重視すべきか？ 配点

priority

何が重点かを提示し、
評価結果の特徴 強み・弱み
見える化も あると理解しやすい

	配点例A	配点例B
連携・協創力	20	10
VE提案力	25	40
価格査定力	20	10
ものづくり理解	15	20
情報活用力	10	10
リーダーシップ	10	10
$\Sigma=$	100	100

評価結果の見える化 例



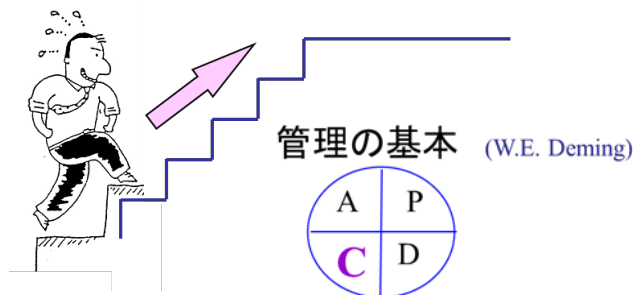
* 評価軸ごとの配点は簡単に変われます。




should be

どこを目指すのか(P・D) 再確認 結果の評価分析・討議(C・A)

できるだけ
自己評価・管理





100%
F1 Score

問題集とワークの能力評価

問題集とワークの能力評価

問題集とワークの能力評価

問題集とワークの能力評価

問題集とワークの能力評価

問題集とワークの能力評価

問題集とワークの能力評価

問題集とワークの能力評価

問題集とワークの能力評価

問題集とワークの能力評価

問題集とワークの能力評価



購買エンジニア評価 シートの構成

Excel architecture

氏名・ID

見える化
(強み弱み)

評価・決済

評価軸
評価項目

評価点

配点
(項目の重み)

判定基準(1~5)

合計点

開発購買エンジニアの能力評価			V3.0B	2021/9/30	Solution Provider					
			氏名	例	注意事項					
			業務概要		評価点数 67					
			長所を伸ばし、短所を改善し、能力を向上する。							
			更に向上するには、責任者コメント 署名↓							
			更に良くするには→							
			署名							
5段階評価の判断基準										
	評価項目	5	4	3	2	1	項目評価	合計	特徴	配点
1	サプライズマネジメント	社内製造も含めて、目標達成へのサプライズマネジメント。現状のサプライズだけでは大幅CD困難						4	14	4
a	グローバルなポテンシャルサプライズ確保・活用	グローバルにDB共有	定期的に更新活用	自力で情報整理	商社に依頼が多い	担当個人ベース	4			
b	国際調達力	実務にビルトイン	定期的に更新活用	IPO拠点活用	なかなか進展せず	劣っている	4			
c	サプライズを評価査定・改善指導	定期的に実施・公開	定期的に実施	規程あり、活用	一部で実施	規程無し	4			
d	調達戦略、サプライズ集約・開拓	経営直結組織で実施	全社的な取り組み	目標設定し実施	一部で実施	なし	3			
2	VE提案力	図面通りでは大幅CDできない						4	14	
a	目標値を実現するVA提案力	ノウハウ集の充実・改善	設計部門と連携	設計との協議可能	VA提案できるが...	VA提案力なし	4			
b	Simulation解析の活用を連携・具体化	常時活用・連携	技術部門と連携	部分的に活用	利用した事がある	Simulation解析認識なし	3			
c	事前品質検証ポイント・具体化を指示	データベース化・充実	品質保証部門と連携	ポイント指示できる	過去の問題整理	品質企画不可	4			
d	V.E.R.の継続的充実	目標達成Solution可能	折衝力研修・充実	V.E.R. 定期的研修	VA折衝研修規程有	動機付け困難	3			
3	価格査定力	グローバルなコスト査定力、目利き						4	11	3
a	外注品の コストテーブル試算活用	DB定期更新改良	コンピュータ化・活用	限定して利用	あるには あるが...	なし	4			
b	購入品の BMS 比較評価	DB定期更新改良	コンピュータ化・活用	主要品は整備	古いモノがある	なし	3			
c	見積試算値実現の提案・現場指導	サプライズ指導・協調	エキスパート要請拡大	現場に入り込んでいる	一部分可能	指導力なし	2			
d	最新のテクノロジーを理解・活用具体化	DB化し更新活用	組織的に整備	ロードマップ、トレンドDB	部分的に理解	活用能力なし	2			
4	ものづくり理解	ものづくりの機械・設備・金型・工程を理解・認識。QC工程図活用した品質保証も重要。						3	15	4
a	プラスチック材料・成型・金型	問題・改善指摘可	材料・金型・機械熟知	製造工順熟知	製造工順理解	材料・性状は理解	3			
b	金属材料・プレス・機械加工・金型治工具	問題・改善指摘可	材料・金型・機械熟知	製造工順熟知	製造工順理解	材料・性状は理解	5			
c	表面処理加工・組立て	問題・改善指摘可	材料・治具装置熟知	製造工順熟知	製造工順理解	種類・性状は理解	4			
d	電子装置組立て	問題・改善指摘可	材料・治具装置熟知	製造工順熟知	製造工順理解	部品・性状は理解	3			
5	ナジマネジメント	"ノウハウの蓄積・共有化・徹底活用"が必須。情報が企業の生き残り左右する						3	12	3
a	ネットで蓄積・共有化・徹底活用	90%以上で実施	70%以上で実施	50%以上全社で実施	各工場、部門で実施	実施されてない	3			
b	電子データ化・体系化	" "	" "	" "	" "	体系化無し	3			
c	テーマフォーマット標準化・活用	" "	" "	" "	" "	標準フォーマット無し	3			
d	基礎データ購入実績、資材予算、原価実績	グループで共有	全社で共有	資材予算、実績など	購入実績のみ	基礎データ不備	3			
6	リーダーシップ	組織のカベを取り払って、真に無限の知恵を出し合うよう						4	14	4
a	サプライズ技術部門、資材部門 3者の連携	3者の連携	3者の連携	3者の連携	3者の連携	3者の連携	4			
b	営業部門、技術部門、資材部門 3者の連携	3者の連携	3者の連携	3者の連携	3者の連携	3者の連携	3			
c	サプライズ品質保証部門、資材部門 3者の連携	3者の連携	3者の連携	3者の連携	3者の連携	3者の連携	4			
d	部品の共有化・共通化・部品点数削減	具体的な目標明確	具体的な目標明確	具体的な目標明確	具体的な目標明確	具体的な目標明確	3			
24項目 Copyright Kimitoshi Yagi :Procurement Innovation Research						配点補正加重合計= 66.8	合計点	80	3.3	



Solution Provider

購買エンジニア評価 シート記入要領

サブライマ ネジメ ント		開発購買エンジニア の能力評価		V3.0B	2021/9/30	Solution Provider
		氏名 業務概要 自己評価 更に良くするには→ 署名		評価点数 67	注意事項 “項目評価”に5点満点で評価記入 フォーマットは変更しないで下さい。 上するには 責任者コメント 署名！	
5段階評価の判断基準						
項目	評価項目	4	3	2	1	項目評価
1	サブライマネジメント	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	4
2	VE提案力	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	4
3	価格査定力	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	4
4	ものづくり理解	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	4
5	ナレジマネジメント	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	4
6	リーダーシップ	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	現状のサブライマだけでは大幅CD困難	4
24項目		Copyright Kimitoshi Yagi : Procurement Innovation Research				合計点 80 3.3 100

レーダーチャート
にリンク

評価
点数記入

評価判定基準



評価結果の説明・討議・支援

まとめ

個人情報
セキュリティ

